

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

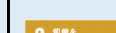
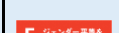
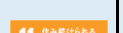
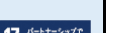
【基本的な事項】

- ・ 期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
- ・ 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・ 労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している。					○			○		○						○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	職場内におけるハラスメント防止のため、ハラスメント相談員（3名）を指名し、電話、面談等により苦情及び相談を受けている。 さらに事業としても県民からの「スポーツに関するハラスメント相談窓口」を開設している。					○			○								○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働は正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制を構築するため就業管理システムを導入している。								○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	・現時点で外国人労働者はいないが、職員の募集については門戸を広げて差別や人権侵害が無いよう配慮している。				○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	・衛生管理者の設置(R5年度取得予定)と、毎月1回 産業医との衛生委員会を開催し、職場巡回や職場でインフルエンザワクチン接種を行うなど、職員の労働安全衛生環境の整備に努めている。			○					○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	年1回のストレスチェックを実施し、必要に応じて産業医との相談環境を整備している。			○														
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	多様な人材の採用に取り組んでいる。 ・女性職員（ ）名 ・60歳以上の職員割合（ ）名 ・障害者雇用（ ）名					○			○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	・衛生委員会を設置し、産業医と連携して職場環境の整備、インフルエンザ予防接種の斡旋等に取り組んでいる。			○					○									
9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	人材育成委員会において、職員の資質向上に取り組んでいる。 職務や役割に応じた研修体系の整備と実施・従業員のスキルアップや学び直しの機会を提供している など				○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	事務分掌によりプロパー職員、臨時職員の業務分掌を明確にし、同一賃金同一労働に努めている。								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	廃棄物の処理については収集、運搬等についてはマニフェストに、基づき適正に処理し環境負荷の低減に努めている。 また、公園の伐採木のウッドチップ化にも取り組む予定としており、廃棄物の削減と再利用に取り組んでいる。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・近年の温暖化の影響と、それに伴う熱中症対策等により使用量の削減は容易ではないが、例年の使用量を上回ることにないように配慮しながら電気、燃料の使用量の削減に取り組んでいる。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	排出量の把握は難しいが、エアコンや熱源機器等の更新の際には適合機種を選定し、削減に積極的に努めている。							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	非該当 有害化学物質の取り扱いはありません。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・公園内の化学肥料等については、環境に配慮した製品を選ぶように心がけている。						○									○		
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	園内で使用する水については、トイレや散水等で使用する水は井戸水を活用し利用効率の改善に努めている。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	非該当 本協会の事業においては該当しないと思われます。			○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	非該当 職員が園内を巡回しながらゴミ拾い等を行っているが、日常業務的な内容なので特に開示などはしていない。また、植栽等委託業者の環境への取り組みも多岐に渡るため開示していない。												○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	太陽光は設置しているが、老朽化のため、現在、県と協議中。 トレーニング室のエアロバイク等については、利用者が機器を動かすことで発電する機種を採用しており、エネルギー負荷の低減に努めている。							○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	・コピー用紙等については積極的に再生紙を採用している。 ・近隣住民から要望があった際には、公園内の落ち葉を有機肥料として無料配布している。												○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	・ヴァンフォーレ甲府と協働して、使い捨て容器の削減等に取り組んでいる						○					○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	ガバナンスコードを作成し、コンプライアンス遵守に取り組み、その状況をHPで公開している。役員の選定にあたっては外部有識者を含めた「役員資格審査委員会」による審査を経て評議員会に推薦している。 また、内部通報規程において、違法、不正行為の発見と是正を図り、法令並びに協会の定款、関係規程の遵守に取り組んでいる。																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	チェックリストに基づき、複数名での確認で防止に取り組んでいる。																○	
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	職員の資質向上のための研修において、知的財産だけを取り上げた研修は受講していないが、研修内容の中に知的財産に関する内容を含めた研修を取り入れるように取り組んでいる。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	・「個人情報の保護に関する要綱」を定めている。 ・定期的に社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図っている																○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	非該当 ・紛争鉱物等の取り扱いはありません。																○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	公園内の樹木等の委託業者には、生物多様性や生態系への悪影響が無いよう配慮するよう指導している。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	施設管理業務については、県の定めた管理運営基準に基づき、安全・安心な利用の確保に取り組んでいる。			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	公園利用者やスポーツ教室参加者から、アンケートを取り、的確にスポーツニーズに対応できるよう工夫しており、お客様との信頼関係構築の機会と捉えてサービス向上に取り組んでいる。									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	非該当 製品の開発・設計等は行っておりません。						○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	高齢化に伴う健康寿命の延伸、子ども体力低下問題に則したスポーツ教室、イベント、講座等を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	毎月の行事予定等を地域の回覧板にて周知しながら、地域との連携に努めている。				○					○		○	○		○	○		○
33	社会 貢献・ 地域 貢献 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	公益財団法人として、スポーツをとして広く県民の健康・体力向上等の各種事業に取り組んでいる。				○						○				○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	レストランやイベント出店業者選定に際しては、地産地消、地産外商を行っていることを着目点の一つとしている。								○	○		○	○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	ガバナンスコードを作成し、コンプライアンス遵守に取り組み、その状況をHPで公開している。																○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	・経営計画(4年)を策定している ・経営者が適時、幹部会議、経営会議等経営理念、経営目標を社員に伝えている								○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	・法令順守(コンプライアンス)の方針、手順などの体制が整備されている・内部通報制度(匿名性の保障や社外直通窓口など)が整備されている など																○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	非該当 法人の事業効果については、出資法人調査特別委員会等で審査をいただいております、その都度適切に対応しています。																○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	内部通報制度、ハラスメント相談員、ガバナンスコードの策定、衛生委員会の設置、産業医や顧問弁護士の契約等でリスクマネジメントに努めている。																○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	協会が行う各種事業について、職員以外で構成する各種委員会を設け、客観的に分析し、事業をすすめることでCSR的な役割をになっている。																○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	非該当 公益活動をしている財団法人として、また、業務内容としても特定のステークホルダーはいない。																○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	管理施設における補完体制計画や防災訓練、自衛消防組織、甲種防火管理者の配置を行っている。									○		○		○			○	

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	経営計画(4年)とスポーツ推進計画(10年)を策定し、計画的で持続的な事業継承に取り組んでいる。								○	○								○
【記載留意事項】 ・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。) ・「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画(2021年改定版)」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容(水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど)を活用している場合も併せて記載してください。(次項の【その他独自に行っている取組】も同様。)																			

【その他独自に行っている取組】

[illegible]